



2025年2月27日

各 位

会社名 アルテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 池谷 壽繁
(コード番号 9972 東証スタンダード)
問合せ先 経理部長兼経営企画部長 野田 剛司
(TEL : 03 - 5542 - 6762)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
(2025年2月アップデート)

当社は、2025年2月27日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を評価・分析し、改善に向けて更新した内容を決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (2025年2月アップデート)」をご覧ください。

以 上

資本コストや株価を意識した経営の実現
に向けた対応について
(2025年2月アップデート)

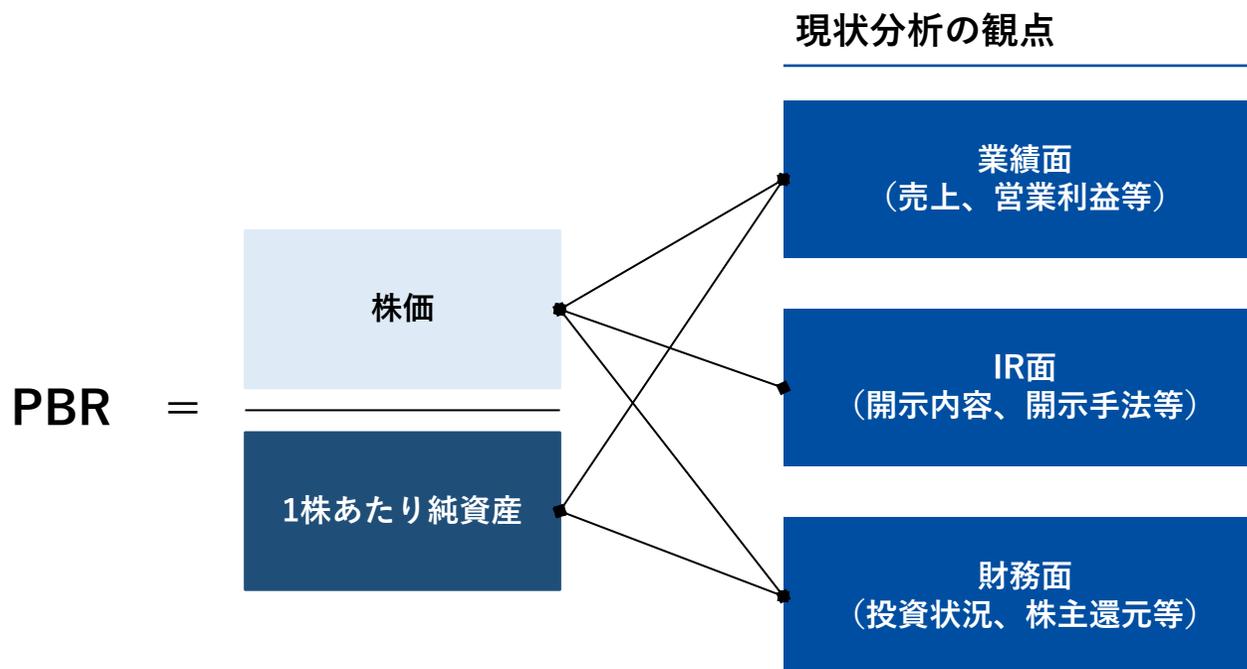
アルテック株式会社

(証券コード：9972)

2025年2月27日

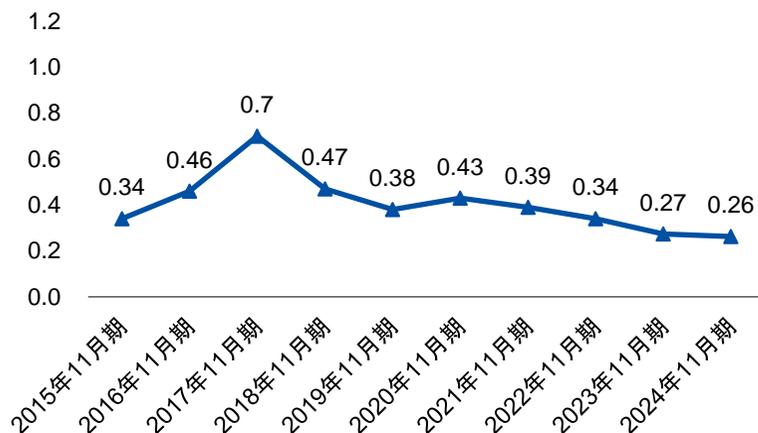
PBRの現状分析にあたっての考え方

株価および1株あたり純資産に影響を与える主要素として、「業績」、「IR」、「財務（投資状況、株主還元等）」の3つの点を定性面と定量面から振り返り、次のとおり、PBRの現状を分析いたしました。

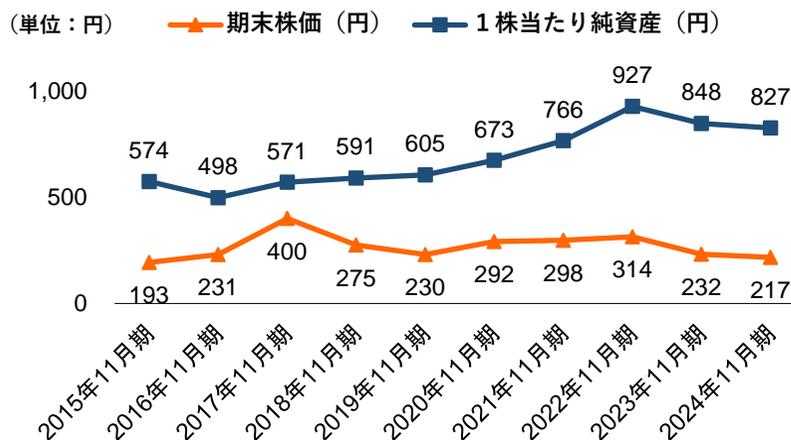


PBRの現状分析結果（2025年2月時点におけるアップデート）

PBR値の推移（2015/11期～2024/11期）



期末株価・一株当たり純資産の推移（2015/11期～2024/11期）



現状分析結果（2025年2月時点におけるアップデート）

【前提：当社のビジネスモデル上の特性、背景】

- 当社の事業は海外メーカーから産業機械を仕入れて据付・運用等の技術面のサポートも含めて販売する商社事業と、PETボトルの中間製品であるプリフォーム等を製造するプリフォーム事業の二本柱であります。
- 商社事業はメーカーからの仕入（海外からの商権獲得）および為替リスクの観点から、一定以上の財務基盤がビジネス運営上必要になります。
- 商社事業はフロービジネスであるため、安定的に売上確保ができるビジネスとは言い難く、収益力の向上に向けては事業拡大（ストックビジネスの展開）が必要でありました。そのため、商社事業で培った顧客との関係性やノウハウを基に、2002年よりプリフォーム等の製造業に進出いたしました。
 - ただし、製造業であるため投資が先行したことや、立上げ期にSARSやリーマンショックが直撃したこと等、事業を軌道に乗せるまでに時間がかかりました（現在は第二の柱といえる100億円規模にまで成長）。

業績面

- 商社事業は堅調に成長を重ねており、2024/11期は一部の案件における検収遅延等の影響で売上高8,764百万円と前年比減となるも、利益面ではコストコントロールの徹底等により、直近5年で最高益となるセグメント利益628百万円を計上しています。プリフォーム事業は、飲料用プリフォームの販売数量増加、前連結会計年度に連結子会社化した六盤水愛而泰可環保科技有限公司の再生フレークの販売拡大に伴い2024/11期は売上高9,522百万円と前年比増となった一方で、一部工場での歩留まりの改善を目的とする生産設備のオーバーホールの実施、新規事業である再生ペレット・再生フレーク事業の初期投資負担の発生等により、セグメント損失530百万円（前期はセグメント損失606百万円）を計上しました。
- 上記状況を踏まえ、プリフォーム事業の運営効率化および安定化に向けて、事業構造改革の一環として一部拠点・設備の見直しを行い、連結子会社である愛而泰可新材料（蘇州）有限公司の第4・第5工場の売却を実施いたしました。今後も収益力の向上に向け、継続的に事業構造改革を推し進める想定です。

IR面

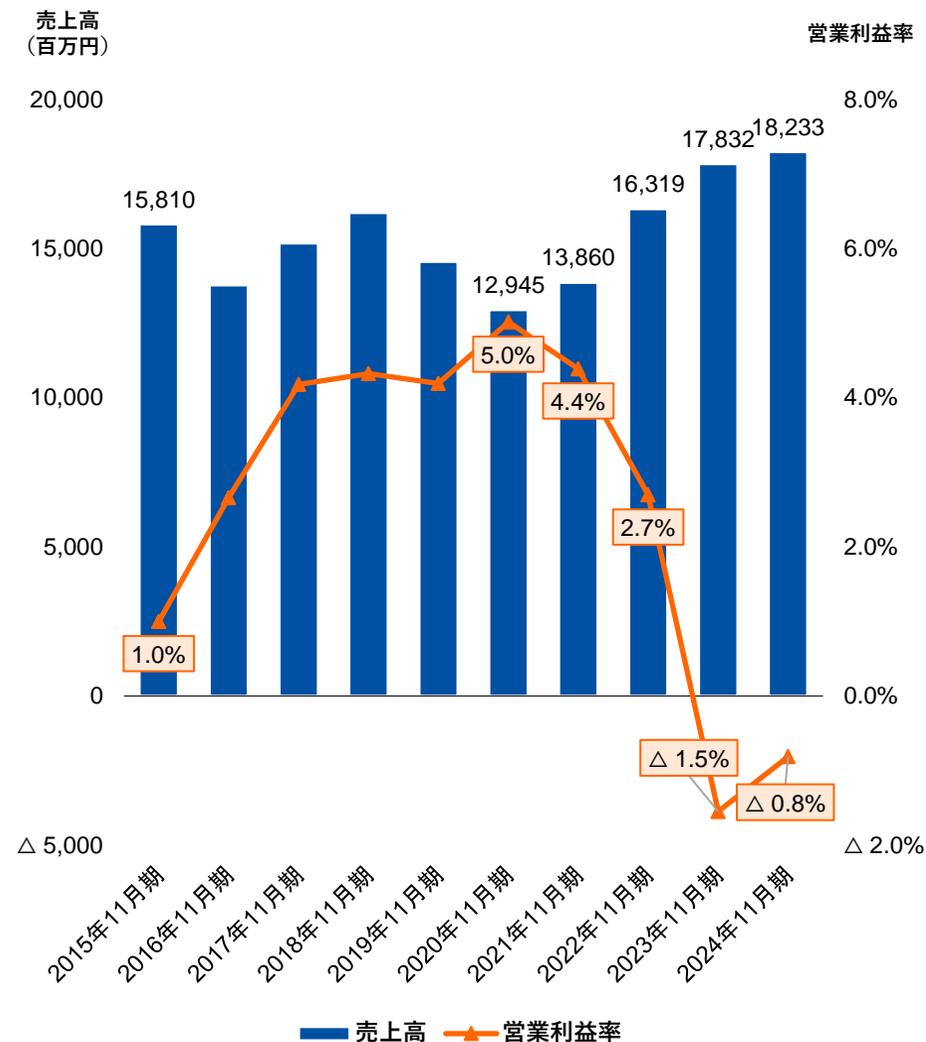
- 2024年1月末に開示した本資料に基づき、株主・投資家の皆様との対話を強化すべく、各種取組みを着実に実施いたしました（各取組みの進捗状況はP.4に記載しております）。
- また、上記業績面の現状を踏まえ、当社として中長期的に目指している方向性や、その実現に向けた戦略・取組み等からなる、次期中期経営計画の検討を開始しております。こちらは策定次第、公表し、株主・投資家の皆様との対話に活用してまいります。

財務面

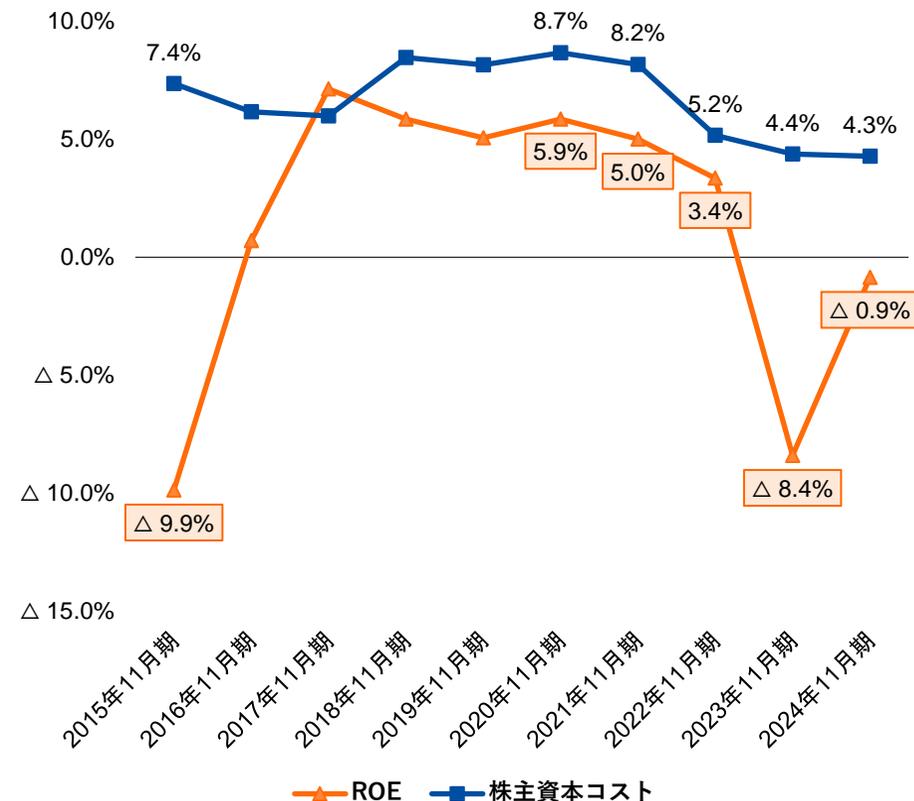
- 当社のビジネス運営上必要であるため、一定の財務基盤を維持しています。事業投資に関しては、新型コロナ等の不透明な事業環境から近年抑制傾向にありました。結果として、自己資本比率を一定以上の水準で維持しています。一方で、直近では、プリフォーム事業とのシナジーや顧客への付加価値向上を見据え、再生ペレット・再生フレーク事業へ参入し、投資を開始しました。
- 株主還元（配当）は、連結・単体の利益剰余金の水準を勘案し、安定配当を基調としつつ連結配当性向30%以上を目標とする配当方針に則りつつ、2024年11月期は財政状態および今後の業績見通し等を総合的に勘案し、7円/株の配当を予定しています。事業投資の継続、安定的な株主還元を実現するため、2024/11期において政策保有株式の一部売却を実施しています。

PBRの現状分析/定量面の分析（2025年2月時点におけるアップデート）

売上、営業利益率推移（2015/11期～2024/11期）



ROE、株主資本コスト*推移（2015/11期～2024/11期）



*株主資本コスト算出にあたってはCAPM（資本資産価格モデル）を使用。
 前提条件は以下の通り。
 ① リスクフリーレート：日本10年国債利回り（財務省の『過去金利情報』から過去10年間の平均を算出）を使用
 ② 修正後ベータ値：対TOPIX。2年週次の調整後終値を使用し修正前ベータ値を算出。（ $=0.35 + \text{修正前ベータ値} \times 0.65$ ）
 ③ リスクプレミアム：6%想定

PBRの現状分析/PBR改善に向けた各取組みの進捗状況

取組み	担当部門	進捗状況の評価	実施済みの事項	凡例
1 価値創造ストーリーの作成	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 経営企画部 各営業部門 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 社内外へのインタビューを実施し、当社がこれまで培ってきた強みや特徴を整理しました。 取りまとめた内容は、2024年1月よりHP上で公開しています。 (※詳細はP.5をご覧ください) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 内容、スケジュールともに堅調に進行、完了した取組み ○ 当初想定通りの内容、スケジュールで進行中の取組み △ 当初想定よりも内容、スケジュールに遅れ等が生じている取組み
2 現中期経営計画の進捗確認とローリング	<ul style="list-style-type: none"> 経営企画部 経理部 	○	<ul style="list-style-type: none"> 業績（定量面）および戦略・取組み（定性面）の振り返りを実施し、2025年2月よりHP上で公開しております。なお、スケジュールも勘案し、現中期経営計画のローリングは実施せず、振り返りを行った内容を基に、次期中期経営計画への反映に向けて取組みを進めています。(※詳細はP.6をご覧ください) 	
3 次期中期経営計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 経営企画部 経理部 	○	<ul style="list-style-type: none"> 上記の現中期経営計画の進捗確認を踏まえ、次期中期経営計画策定に向けた社内検討を開始しています。今後策定次第、外部公開を予定しています。 	
4 IRのアクセス動線の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 	○	<ul style="list-style-type: none"> 当社HP上のIR情報サイトのリニューアル・刷新を2025年1月に実施しました。 (※詳細はP.7をご覧ください) 	
5 人的資本経営実現に向けた取組みや人材方針の作成	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 	△～○	<ul style="list-style-type: none"> これまでの人材面の取組み・成果を振り返り、人材育成方針および社内環境整備方針を策定し、有価証券報告書上で公開しました。 一方で、基本方針実現に向けた取組みに関してはこれまでの整理を実施するも、拡充するまでには至りませんでした。 	
6 IR面の体制強化	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 	△～○	<ul style="list-style-type: none"> 株主・投資家の皆様との対話を通じて頂戴したご意見を整理・集約した上で、取締役会に報告しています。 今後も継続的に株主・投資家の皆様からの意見を取締役会へ報告するとともに、対話方法に関しても拡充を検討いたします。 	
7 サステナビリティ情報の開示充実化	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 	○	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ基本方針およびマテリアリティを策定し、2025年2月に当社HP上に公開する予定です。 さらなる開示情報の充実を目指し、新たな取組みも継続的に検討いたします。 	

「1.価値創造ストーリーの作成」、「2.現中期経営計画の進捗確認とローリング」、「4.IRのアクセス動線の見直し」を中心に、全体としては取組みを順調に推進しました。今後は業績面の向上の観点からも、「3.次期中期経営計画の策定」に注力しながら、各種取組みを推進し、定期的に進捗状況を共有する予定です。

(ご報告) 取組みの実行状況/価値創造ストーリーの作成

取組みNo.1「価値創造ストーリーの作成」に関しましては、優先度が高いとの判断から、先んじて取組みを実施し、2024年1月に公開いたしました。

- 詳細は、当社WEBサイト掲載の「[価値創造ストーリー](#)」をご覧ください

当社の価値創造ストーリー

アルテックの企業理念

【絆】 お客様との絆を深めるための行動指針
 お客様よりお客様のことを理解し、良き相談相手となり、相談には期待以上のスピード感で高いレベルのソリューションを提供する

【究】 業界について幅広く、深い知見を構築するための行動指針
 お客様やメーカーとのリレーションの構築と情報収集を徹底することで、業界の課題解決に向けた価値創造を提供する

【翔】 新しい技術情報を見出し、顧客の課題解決にチャレンジするための行動指針
 成長する機会を常に模索し、機会があれば果敢に挑戦する姿勢を持って自己とアルテックの成長に繋げる

事業基盤

当社のコアとなる3つの強み

- 1 ニッチ市場における高い専門性
- 2 自由で挑戦を後押しする組織風土とスピード感のある意思決定
- 3 機械・電気・システム、それら3分野のエンジニアを有し、導入から運用・保守までサポートする技術力

社会、事業環境

主要なお客様の業界等

容器・包装業界

飲料業界

自動車・航空宇宙業界

製薬・食品・日用品業界

物流・ロジスティクス業界

プラスチック資材業界

機械・エレクトロニクス業界

化学業界

官公庁 など...

提供価値

顧客価値

お客様と業界の価値創造
(お客様と業界の課題解決、変革・挑戦)に貢献いたします

- 1 お客様と業界にとって付加価値が高い商権発見・提案力
- 2 お客様と共に課題や挑戦に向き合い続けるパートナーとしての安心感・信頼感
- 3 お客様のニーズを踏まえた新領域への挑戦

商権数：159 (単体)
 取引連続年数 10年以上の顧客数：約200社 (最近10年間)
 プリフォーム事業の売上高：8,118百万円

経営資本

社会・関係資本	財務資本	自然資本
顧客数：約2,100社 仕入先数：約1,200社 <small>(最近10年間)</small>	自己資本比率：54.2% (連結)	SBT認証取得 (CO2排出量：37,973 t-CO2 (scope1・2)) * <small>*2022年11月30日時点</small>
人的資本 単体従業員数：133人 連結従業員数：466人		製造資本 (営業・製造拠点) 国内：6拠点 海外：13拠点

社会課題

エネルギー転換	技術革新
環境配慮素材	省エネ・省資源
カーボンニュートラル	労働力不足 労働環境改善
節水・水の有効活用 排水処理	プラスチックリサイクル、3R
など...	

経済価値 (財務指標)

単体業績		連結業績	
売上高：12,055百万円	営業利益：261百万円	売上高：17,832百万円	営業利益：△275百万円*

*プリフォーム事業における顧客満足度評価および新規事業の立上げ費用の増大により、2023年11月期は営業損失を計上

社会価値 (非財務指標)

当社グループが取り組む重要課題 (マテリアリティ)

技術革新の取組み

脱炭素社会への貢献

ガバナンス体制の強化

働きがいのある職場環境への取組み 環境や社会に配慮した調達・供給

※各数値は特別な表記が無い限り2023年11月30日時点の数値

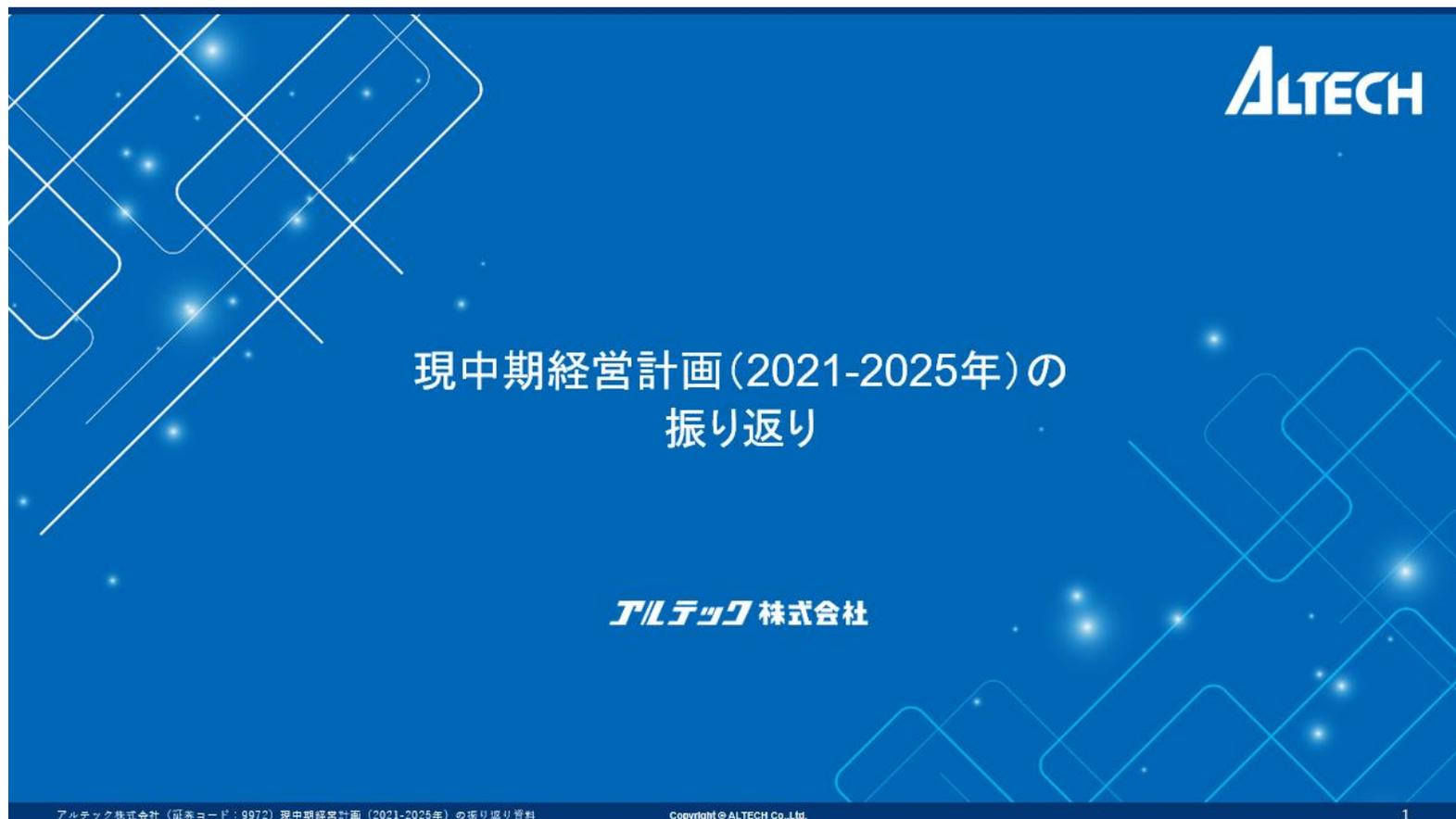
アルテックは、創業以来約50年にわたる歴史の中で培ってきたコアとなる3つの強みと経営資本を活かし、お客様と共に歩み続ける価値創造企業です。

アルテック株式会社 (証券コード：9972) 当社の価値創造ストーリー Copyright © ALTECH Co.,Ltd.

(ご報告) 取組みの実行状況/現中期経営計画の進捗確認とローリング

取組みNo.2「現中期経営計画の進捗確認とローリング」に関しましては、業績（定量面）および戦略・取組み（定性面）の振り返りを実施し、「現中期経営計画（2021-2025年）の振り返り」資料を2025年2月に公開いたしました。

- 詳細は、当社WEBサイト掲載の[IR情報サイト「現中期経営計画（2021-2025年）の振り返り」](#)をご覧ください



(ご報告) 取組みの実行状況/IRのアクセス動線の見直し

取組みNo.4「IRのアクセス動線の見直し」に関しましては、当社HP上のIR情報サイトのリニューアル・刷新を実施し、2025年1月に公開いたしました。

- 詳細は、当社WEBサイト [IR情報 | アルテック株式会社](#) をご確認ください

ALTECH アルテック株式会社

IRトップ IRニュース 業績・財務情報 事業紹介 IRライブラリ

IR情報

INVESTOR RELATIONS INFORMATION

IR最新情報 IR年間カレンダー

2025/01/14	剰余金の配当に関するお知らせ(156KB)
2025/01/14	2024年11月期 決算短信を掲載しました(360KB)
2025/01/10	事業構造改善費用(特別損失)の計上および業績予想の修正に関するお知らせ(192KB)

[一覧はこちら](#)

株価情報

市場名:東証スタンダード
証券コード:9972

[現在の株価を見る](#)

※Yahoo!ファイナンスにリンクします。

PBR改善に向けた計画（2025年2月時点におけるアップデート）

2024年1月に公開したPBR改善に向けた計画につきましては、目標実現に向けた取組みを着実に実行してまいりました。一方で、新規事業である再生ペレット・再生フレーク事業の初期投資負担等により、2024年11月期の業績は利益面が伸び悩み、結果として定量目標の達成には伸びしろが存在しています。今後は、主に次期中期経営計画の策定を通じ、持続的な成長を果たしながら定量目標の達成を目指します。

引き続き、定量的な目標および各取組みの進捗状況は定期的に関示し、株主・投資家の皆様と積極的に対話してまいります。



No.	優先度	取組み	内容
1	高	価値創造ストーリーの作成	● 実施済み ● 外部との対話強化に向けた当社のビジネスモデルやこれまで培ってきた強みや特徴の整理
2		現中期経営計画の進捗確認とローリング	● 実施済み ● 現中期経営計画（2021～2025）の進捗状況の確認、進捗を踏まえた上での必要に応じた目標の再設定、対応策の検討
3		次期中期経営計画の策定	● 策定中（重点取組み） ● 持続的な成長に向けた次期（2026年度以降）中期経営計画の策定
4	中	IRのアクセス動線の見直し	● 実施済み ● 外部との対話強化に向けたIRサイトのリニューアル・刷新等によるアクセス性の向上に向けた検討
5		人的資本経営実現に向けた取組みや人材方針の作成	● 継続実施 ● 人材育成方針・社内環境整備方針に基づき、「3.次期中期経営計画の策定」と連動しながら、さらなる施策の実施を検討
6		IR面の体制強化	● 継続実施 ● 株主・投資家の皆様への能動的なアプローチの実施を検討
7		サステナビリティ情報の開示充実化	● 継続実施 ● 今後のさらなる開示充実化を見据え、新たな施策の実行を検討
-	低	当社の状況を踏まえた優先順位としては劣後するため、上記以外の統合報告書の作成、決算説明会の開催形式見直し・開催頻度増加、外部との対話ツールの拡充（多言語対応）とその他の取組みは順次検討いたします	

(ご参考) 各取組みの実施計画 (2025年2月時点におけるアップデート)

取組み	担当部門	FY2023		FY2024		FY2025		FY2026	
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
1 価値創造ストーリーの作成	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 経営企画部 各営業部門 	過去の歩み・強みの整理	対外公開準備						
2 現中期経営計画の進捗確認とローリング	<ul style="list-style-type: none"> 経営企画部 経理部 		現計画の振り返り実施	進捗状況に応じた今後の対応策の策定・公開					
3 次期中期経営計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 経営企画部 経理部 				策定に向けた検討の実施 (目指す姿・戦略・数値計画等の策定)		計画の実行	定期的なモニタリング実施	
4 IRのアクセス動線の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 	現状把握	IRページ等リニューアルの検討	公開					
5 人的資本経営実現に向けた取組みや人材方針の作成	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 	基本方針決定 これまでの取組み・実績の整理	基本方針に基づいた施策の検討	対外公表		さらなる施策の実施検討			
6 IR面の体制強化	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 	株主関連情報の社内FB/分析体制強化				株主・投資家の皆様への能動的なアプローチの実施検討			
7 サステナビリティ情報の開示充実化	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 	基本方針、マテリアリティ策定	HP上における情報開示の充実化			さらなる施策の実施検討			

凡例
 既に着手済、着手中の取組み
 今後着手予定の取組み



※将来に関する記述等についてのご注意

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づき、当社が判断した内容であり、潜在的风险および不確実性が含まれております。これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。